

2022(令和4)年4月15日

公益社団法人  
日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟

## 当連盟における「コーチ4」養成講習会の中止について

2022(令和4)年度より当連盟における指導者制度最上位である「コーチ4」\*養成講習会を中止とさせていただきますので、ここにお知らせ致します。

### 1. 現状と制度改定理由

- 当連盟の競技者登録数が非常に少ないこともあり、競技者から指導者資格を取得しようとする者も結果的に少ない現状がある。また、これまでの受講者の中には、保有したコーチ資格を活かす場所が無く、資格更新料が無駄になるなどの理由により、コーチ資格を手放してしまう者も出てきている。
- 公認コーチ資格を取得する為には、当連盟競技委員会強化部に実質的に貢献する者、または強化スタッフとしてメンバーに入ることが可能な者として、競技委員会強化部より申請があった者を受講者として選定し、講習を受け付けている。
- 「コーチ4」における専門科目の集合講習時間数は20時間から60時間になり、その他(自己研修時間)の20時間を含めると、総計80時間と激増する中、講師を担当できるそり競技に精通した者が少ない為に、両資格の講習会への人的配置が困難で、実質的に開催そのものも非常に難しい状況に陥る可能性がある。
- 「コーチ3」\*資格でも、専門科目で必要十分な内容を学ぶことができ、当連盟におけるコーチ資格としては十分に専門性を担保することができる。

※「コーチ3」「コーチ4」は公益財団法人日本スポーツ協会の競技別指導者資格である

### 2. 今後のコーチ資格について

- 「コーチ3」の上位の講習として、公益財団法人日本オリンピック委員会で開催しているナショナルコーチアカデミーを位置づける。従って、「コーチ3」取得後に競技委員会にて推薦され、理事会にて承認された者は、ナショナルコーチアカデミーの受講をすることが可能である。
- 今後の「コーチ3」資格取得者への質的保証については、「コーチ3」受講内容を基本的な内容に加え、専門科目更新講習会を開催するなど、より実質的な内容へ改訂する。なお、将来的な「コーチ3」資格では、当連盟の3競技合同研修会へ参加し、最新の当連盟強化方針・インテグリティなどに関して学びを深めることも検討している。
- 既に取得された「コーチ4」資格は、そのまま有効で継続される。

以上